

# こだま新聞

第211号  
平成25年5月

## 歯科健診から

今年も学校の歯科健診が始まりました。4月は中学校で開催されました。

私は保育園と幼稚園、中学校を担当しています。今年から小学校はちず歯科が担当になりました。

保健センターでの歯科健診は1歳半児、2歳児、3歳児が行われています。そのため保育園の歯科健診では保健センターで行われている歯科健診とあわせて2回歯科健診されている児童がでできます。

保育園では幼稚園の児童よりも虫歯が少ないですが、小学校に入学すると幼稚園出身の児童

と保育園出身の児童の虫歯

の本数が逆転してしまいま



す。原因のひとつは幼稚園では歯ブラシや虫歯予防を行う主役が本人と母親なのに対して、保育園では主役が保母さんやボランティアになっているためです。もうひとつの原因はフッ素洗口にあるのではないかと思います。八郎潟町では虫歯予防にフッ素を導入しているのは幼稚園だけです。現在フッ素洗口は幼稚園の数年間だけです。効果が少ないのではないかとと思われる方が多いようです。

でも、実際にはフッ素洗口という事業に親子で参加すること、本人も家族も虫歯予防について理解が進み、たとえフッ素洗口が途絶えてもその後の口腔衛生についての気持ちが変わってきます。虫歯予防は自分たちで行うものだという気持ち

ちは虫歯予防では一番大切なモチベーションになっています。中学校では歯肉炎の発生率が八割以上の生徒に見られました。多くは歯ブラシによる清掃時間が短いためと食生活の改善が必要のようです。

顎関節症の検査項目に記入している生徒が割くらしいです。生徒の顎関節症については他県での調査報告があつて、八郎潟はその報告に比べると低いようです。記入項目の多くは開口時や閉口時に生じる関節音でした。数人、口が開きにくいという訴えがありました。関節の音は本人が気にしなければ治療の必要はありませんが、口が開きにくい時は治療することで改善されます。ただし顎関節に何らかの原因があるときがありますので口腔外科と標榜している歯科医院または病院で健診を受けることをお勧めします。

## 一日市願人踊

今年も5月5日に一日市神社の例大祭が行われ、願人踊が奉納されました。独特の赤襦袢の衣装で一直踊りをするパワフルな踊りはファンが多いようです。



門付け踊り、演技終わると次の家へ



魁の記者もインタビューされる



途中で行われる寸劇は仮名手本忠臣蔵五段目の一場面とされています。前後の場面を見ると、実はこの二人は義理の父と息子の関係だとわかります。義理の息子を赤穂浪士として参加させるため、支度金を懐にいれ、薄暗い山道を急ぐ与市兵衛。そこに盗賊になった息子定九郎が現れ……

## 今月の行事

5月

- 5日 一日市神社例大祭
- 3日～6日 休診
- 11日 ミュージカル会議
- 18日 クライン總會
- 17日 CM会議
- 20日 北都銀行二十日会
- 23日 3歳児歯科健診
- 30日 保育園歯科健診